

●若者を戦場に送るな●
日本共産党

①ホントに戦争する国に?



②危険な『戦争立法』



③これが『集団的自衛権』



マンガ：岩間みどり

最悪の憲法破壊 許さない

戦争法案

いつでもどこでもどんな戦争でも 切れ目なく米軍支援

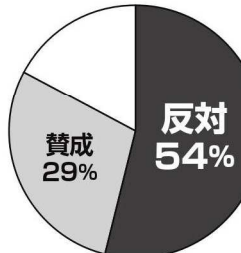
安倍内閣は「平和安全法制」という名の戦争法案（11法案）を閣議決定し、国会提出しました。国民多数の声を無視し、「海外で戦争する国」へと日本をつくり変えるものです。

反対無視し法案提出

法案は、日本の国の「平和」とも国民の「安全」とも全く無縁。アメリカが、世界で行う戦争に、いつでも、どこでも、どんな戦争でも自衛隊が支援・参戦する戦争法案がその正体です。戦後日本の歩みを覆す戦後最悪の憲法破壊です。

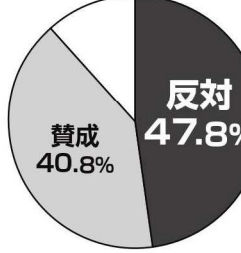
日本共産党は法案反対の一点で力を合わせ、何としても成立を阻止することを呼びかけます。

戦争法案 今国会成立



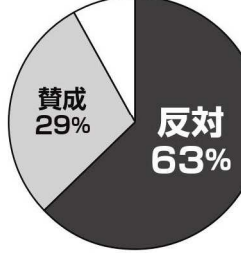
「日経」4/20付

憲法「改正」



「産経」4/28付

9条「改正」



「朝日」5/2付



2015年5月号外

◇日本共産党福岡県委員会の見解を紹介します。
◇発行/福岡民報社◇1964年12月9日第3種郵便物認可
◇〒810-0222 福岡市中央区薬院3-13-12 大場ビル3階
◇お問い合わせTel.092-411-5131(代表)

電話 092-411-5131
ホームページ http://www.fjcp.jp/

9条を根底から破壊

戦争法案は、自衛隊が世界中で米国の戦争に切れ目なく支援・参戦するものです。憲法9条を根底から破壊する3つの大問題があります。



米軍普天間基地で新しい防空装備を米海兵隊に披露する自衛隊員＝海兵隊ホームページより

3つの大問題

①「戦地」まで行って軍事支援

米国が世界のどこであれ、アフガン・イラク戦争のような戦争を始めたら、自衛隊が「戦闘地域」にまで行って軍事支援をすることになります。戦闘地域には行かな

いという「歯止め」を取り外し、戦地での米軍支援が可能に。そうすると、相手から攻撃され、戦闘になる——「殺し殺される」危険が飛躍的に高まります。

②戦乱がつづく地域で治安活動

PKO（国連平和維持活動）法を改定し、国連が統括しない活動にも自衛隊を派兵します。

形式上「停戦合意」があっても戦乱が続いている所に自衛隊を派兵。テロやゲリラを想定した「治安維持活動」をさせます。武器の

使用も自己防衛だけでなく、任務遂行のためでも許されるようになります。

3500人もの戦死者を出したアフガニスタンでの国際治安支援部隊（ISAF）のような活動に自衛隊を参加させることになります。

戦争法案

日本を「海外で戦争する国」に

憲法9条生かした平和の外交戦略を

日本共産党 「北東アジア平和協力構想」を提唱

いま必要なのは、憲法9条を生かした平和の外交戦略です。北東アジアには緊張や紛争の火種がありますが、それに軍事で構えたら、「軍事対軍事」の悪循環に陥るだけです。日本共産党は、東南アジアで実現している“紛争を話し合いで解決する枠組み”を北東アジアにも拡大する「北東アジア平和協力構想」を提唱しています。

③無法な侵略戦争にも参戦

日本への武力攻撃がなくても、集団的自衛権を発動し、自衛隊が海外での武力行使に乗り出すことになり得ます。大問題は、集団的自衛権の発動は、ときの政権の判断で、無限定に広がることです。

ベトナム戦争のようなアメリカの無法な先制攻撃でもあっても、「個別具体的、総合的に政府が判断する」（安倍首相）と、発動を否定しません。そうならば「集団的自衛」でなく「集団的侵略」です。

戦争法案阻止へ全力

「若者を戦場に送るな」「日本を『殺し殺される国』にするな」——国民の怒りは広がるばかりです。戦争法案の阻止・廃案へ、一緒に力をあわせましょう。

参議院比例代表予定候補（活動地域＝九州・沖縄）

いせだ 良子

